

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 事業名 | スノーリゾート受入観光地協議会誘客宣伝事業 |
| 事業主体 (連絡先) | スノーリゾート受入観光地協議会 |
| 事業区分 | (6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,225,485 円 (うち支援金 : 890,000 円) |

事業内容

JR西日本の協力のもと、関西エリアを拠点とする近畿日本ツーリスト、日本旅行、JTBの企画造成担当者及び販売担当者を招いて信越エリア及び白馬エリアのスキー場とその周辺観光素材を体験し商品造成及び販売に活かすための現地視察を実施しました。

①商品造成担当者視察 (8/28-29)

参加者 5名

飯山～野沢温泉～北志賀高原～白馬～糸魚川

②販売担当者視察 (1/16-17)

参加者 27名

信越エリア (妙高～野沢～志賀高原～飯山)

白馬エリア (糸魚川～白馬～小谷～大町)



【アクティビティ体験の様子】

【目標・ねらい】

- ①企画造成担当者の現地視察による具体的な企画造成の促進
- ②販売担当者の現地視察による店頭での具体的な商品説明の促進
- ③観光地の担当者と販売側エージェントとのコネクション形成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

スノーリゾートへの誘客を行ううえでお客に直接販売するエージェントの皆さんがスノーリゾートの現状を知っていただくことで、より観光客のニーズに合致する企画造成を促進することができました。

また、お客様に商品を販売する際に二次交通や食事、宿泊施設などの具体的な説明を行うための下地づくりができました。

そして、受け入れる側である観光事業者と販売担当者が懇談することで、受入側に不足していること、今後整備すべきことが具体化されました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

協議会設立の趣旨である、関西・北陸からの誘客を図るため、引き続き関西方面への信越・白馬エリアのスノーリゾートプロモーションを積極的に展開することで、北陸新幹線の敦賀・大阪への延伸も見据える中で、関西圏におけるスノーリゾート旅行商品造成を目指す。

また、グリーンシーズンにおける誘客も含め、協議会の事業拡大を図る。

※自己評価【A】

【理由】

事業を行うことで、長野県のスノーリゾートの認知度の低さを把握することができたことに加え、参加店舗を中心に北陸新幹線を利用して長野県のスノーリゾートへ行こうキャンペーンが展開されました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある